



2018/ 12th Workshop of Terrestrial Environment Research
 : Sustainable Material Cycle in Catchments
2018年度第12回 陸域環境研究会
流域の物質循環と持続可能性

日時;3月10日(日)~11日(月)
 場所;広島大学 学生プラザおよび学生会館

プログラム・スケジュール(仮)

3月10日(日) 12時開場 学生プラザ 多目的室1・2 (3階)

司会;清水裕太(農研機構)

13:00-13:05 はじめに 福岡正人(広島大学名誉教授)

13:05-13:15 研究会の趣旨 小野寺真一(広島大学)

【第I部 食糧循環P】

13:15-13:25 プロジェクト(基盤B)経過 齋藤光代(岡山大学)・福岡正人

13:25-13:55 ブラジルの窒素循環-成果と課題 田瀬則雄(筑波大学名誉教授)

13:55-14:10 ブラジルの農業と食糧循環 宮岡邦任(三重大学)

14:10-14:25 ブラジルの現地調査結果 齋藤光代

14:25-14:40 ブラジルのSWAT解析結果 清水裕太

14:40-14:55 ブラジルの産業と物質循環 福岡正人

14:55-15:05 成果のまとめと今後の展開 齋藤光代(岡山大学)・福岡正人

10分休憩

【第II部 SATO P】

司会;齋藤光代

15:15-15:30 プロジェクト(基盤A)経過、物質循環研究と今後の課題 小野寺真一・齋藤光代・友澤裕介・曹陽(広島大学)

15:30-15:50 環境経済評価の適用-経過と今後の計画- 川島滋和(宮城大学)

15:50-16:05 柑橘果樹園流域での再利用システム・普及 松森堅治・清水裕太(農研機構)

16:05-16:20 里海と陸域の連携-アサリPとの連携- 山本民次(広島大学)

16:20-16:35 沖縄沈砂池流域の研究結果と今後 廣瀬 孝(琉球大学)

10分休憩

16:45-17:05 (招待)温室効果ガスフラックス観測・衛星利用研究 岩田 徹(岡山大学)

17:05-17:35 (招待)災害時の地下水利用に向けて 開発一郎(広島大学名誉教授)

17:35-18:05 (招待)地下水位情報の活用-地震時の変動- 北岡豪一(岡山理科大学)

18:05-18:10 まとめ・アナウンス

18:40~ 懇親会

3月11日(月) 学生会館会議室1 (2階)

【9時~12時 第Ⅲ部 都市化P】

司会 ; Guangzhe Jin

09:00-09:15 プロジェクト(基盤B)経過、現地調査 小野寺真一・齋藤光代

09:15-09:35 地球化学的データセット 井岡聖一郎(弘前大学)

09:35-09:50 Nutrient variation in Indonesian Alluvial city Anna Rusydi (Hiroshima Univ)

09:50-10:10 (招待)鳥取県の環境 成岡朋弘(鳥取県環境研)

10:10-10:30 (招待)九州有明流域における栄養塩流出変動 藤井創一郎(日本森林技術協会)

10分休憩

10:40-11:00 (Invited) Phosphorus discharge from a coastal sewage system Guangzhe Jin (Guangdong Ocean University)

11:00-11:15 Long term variation in water balance and nitrogen transport controlled by land use change in the urbanized catchment of Yamato River Kunyang Wang (Hiroshima Univ)

11:15-11:30 沿岸地下水の塩淡水境界の変動 友澤裕介(広島大学)

11:30-12:30 総合討論-公表計画(JpGU、国際誌特集号、瀬戸内海研究フォーラム広島、日本水文科学会など)、次世代プロジェクト(科研、環境省推進費、日本水文科学会 SWAT 高度化WG・林野庁有明(パスコ)P)、研究拠点計画(APN、広島大学拠点、JSPS、JSTなど)など

—

